



デリバリーエンジンに係るチェック工程

■ 競技会でのチェック工程概要

- ・デリバリーエンジンの納品後から返却までの間は、オーガナイザーの保管・管理の下で取扱うものとする。

1. 決勝前日(土曜日)のエンジン配布

- 1) オーガナイザーより配布するエンジンの抽選を実施する。
- 2) 抽選されたエンジン毎に、エントラント立会いの下で、以下の項目を確認する。
 - ・各封印が設置された状態を確認。
 - ・専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。
 なお、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理の下、実作業をヤマハ担当者が行う。
- 3) 確認の後、エントラントにエンジンを配付(受渡)する。

2. 決勝前日(土曜日)のエンジン回収

特にチェック項目は定めない。外観等任意の確認を行う。

3. 決勝日(日曜日)のエンジン再配布

- 1) オーガナイザーより保管場所からエンジンを搬出する。
- 2) 再配布するエンジン毎に、エントラント立会いの下で、以下の項目を確認する。
 - ・各封印が設置された状態を確認。
 - ・専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。
 なお、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理の下、実作業をヤマハ担当者が行う。
- 3) 確認の後、エントラントにエンジンを配付(受渡)する。

4. 決勝レース終了後に実施する再車両検査

- 1) 技術委員により、全車両に対して各封印の設置された状態を確認する。
- 2) 技術委員により、再車両検査対象車両のエンジンに対して専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性
を確認する。なお、確認に際しては技術委員の指示・管理の下、実作業をヤマハ担当者が行う。

5. エンジン交換申請に基づく配布時(適宜)

- 1) 交換が認められた場合、オーガナイザーより配付するエンジンの抽選を実施する。
- 2) 抽選されたエンジン毎に、エントラント立会いの下で、以下の項目を確認する。
 - ・各封印が設置された状態を確認。
 - ・専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。
 なお、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理の下、実作業をヤマハ担当者が行う。
- 3) 確認の後、エントラントにエンジンを配付(受渡)する。
- 4) エンジン交換申請はエンジン配布時～決勝ヒート終了まで1回のみ有効とする。
- 5) グリッドペナルティは公式練習開始後の交換は予選ヒート、予選ヒート終了後の交換は決勝ヒートの
スターティンググリッドに最後尾グリッドのペナルティが与えられる。(複数名の場合、最も遅く申請した者を
最後尾とする。)